令和元年度上半期 食品衛生法・食品表示法に基づく収去検査結果

令和元年度上半期には、200 検体について検査を行いました。

その結果、食品衛生法違反が1件ありました。

結果の詳細については以下の通りです。

1 食品衛生法

(1) 微生物学検査

【a】規格のある微生物検査状況(表1)

市内で製造、加工、調理、販売する規格の定められた食品43検体、延べ68項目について、微生物の規格検査を行いました。

その結果、アイスクリーム類(ソフトアイス)で1件の規格基準違反がありました。

違反食品が製造されないよう、製造所に対し指導を行いました。

表1 規格のある微生物検査状況

検査項目 食品分類(検体数)	細菌数	大腸菌群	E・coli	サルモネラ属菌	黄色ブドウ球菌	腸炎ビブリオ	容器包装詰加圧加熱殺菌食品中で発育し得る微生物	違反件数
魚介類(4)	-	-	-	-	-	4	-	0
冷凍食品(4)	4	4	-	-	-	-	-	0
魚介類加工品(2)	-	2	-	-	-	-	-	0
食肉製品(3)	-	-	3	3	3	-	-	0
乳・加工乳(2)	2	2	-	-	-	-	-	0
アイスクリーム類・氷菓(13)	13	13	-	-	-	-	-	1
清涼飲料水(11)	-	11	-	-	-	-	-	0
容器包装詰加圧加熱殺菌食品(4)	-	-	-	-	-	-	4	0
総数(43)	19	32	3	3	3	4	4	1

違反の概要

アイスクリーム類のうちソフトアイス(ラクトアイス)で規定の細菌数超過及び大腸菌群を検出。

【b】規格のない微生物検査状況（表2 - 、 ）

衛生規範及び岡崎市食品衛生要綱に定めた規格のない食品の成分規格目標基準をもとに、製造施設や流通段階での衛生状態を確認するため、102 検体、延べ 452 項目について微生物検査を行いました。

その結果、9 検体について微生物が検出されました。

表2 - 規格のない微生物検査状況

検査項目 食品分類 (検体数)	細菌数	大腸菌群	E・coli	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌	腸炎ビブリオ	カンピロバクター	腸内細菌科菌群	腸管出血性大腸菌
魚介類 (4)	4	4	4	4	-	-	-	-	-
魚介類加工品 (2)	2	2	2	2	2	2			
肉卵類及びその加工品 (18)	2	-	3	2	16	-	5	2	18
穀類及びその加工品 (5)	5	3	2	5	-	-	-	-	-
豆腐及びその加工品 (5)	5	5	-	5	-	-	-		-
漬物 (1)			1	1	1				
菓子類 (17)	17	17	17	17	17	-	-	-	-
その他の食品 (50)	50	50	50	50	50	8	-	-	-
総数 (102)	85	81	79	86	86	10	5	2	18

表2 - 規格のない微生物検査状況（微生物検出状況）

食品分類	検出項目 (検体数)	検出品目内訳 (検体数)
魚介類	大腸菌群 (2)	生食用鮮魚介類 (2)
肉卵類及びその加工品	カンピロバクター (1)、E.coli (1)	鶏肉 (2)
その他の食品	E.coli (2)、大腸菌群 (5)	弁当・そうざい (5)

(2) 理化学検査

【a】食品添加物の検査状況（表3）

食品添加物について、22 検体、延べ 38 項目の検査を行いました。

その結果、使用基準違反はありませんでした。

表3 食品添加物の検査状況

検査項目 食品分類(検体数)	保存料	漂白剤	着色料	甘味料	その他
魚介類加工品(4)	4	-	2	4	-
食肉製品(3)	3	-	3	-	3
アイスクリーム類・氷菓(4)	-	-	4	-	-
穀類及びその加工品(2)	-	-	-	-	2
漬物(1)	1	-	1	1	-
野菜類・果物及びその加工品(2)	-	2	-	-	-
酒精飲料(2)	2	-	-	-	2
容器包装詰加圧加熱殺菌食品(4)	-	4	-	-	-
総数(22)	10	6	10	5	7

【b】残留動物医薬品の検査状況(表4)

畜産物等(鶏卵、鶏肉、はちみつ)に残留している動物用医薬品について、25検体 延べ510項目の検査を行いました。

その結果、規格違反はありませんでした。

表4 残留動物医薬品の検査状況

	検体の種類	検体数	検査項目数
国内産	はちみつ	2	4
	鶏肉	10	220
	鶏卵	13	286
総数		25	510

【c】残留農薬の検査状況（表5）

農産物等の残留農薬について、22検体 延べ2472項目の検査を行いました。
その結果、残留基準値違反はありませんでした。

表5 残留農薬の検査状況

	検体の種類	検体数		検体の種類	検体数
国産	茄子	1	輸入	にんにく	1
	キャベツ	1		にんにくの芽	1
	かぶ	2		キウイ	1
	きゅうり	1		バナナ	1
	玉ねぎ	1		オレンジ	1
	大根	1		グレープフルーツ	1
	レタス	2		大豆	5
	小松菜	1			
	大豆	1			
検体数		11	検体数		11
総検査項目数					2472

【d】その他の理化学検査状況（表6）

その他の理化学検査について、31検体 延べ40項目の検査を行いました。
その結果、規格違反はありませんでした。

表6 その他の理化学検査状況

検査項目 食品分類(検体数)	酸価	過酸化 物価	無脂乳 固形分	乳脂肪 分	比重	酸度	重金 属	かび 毒	シアン 化合物	溶出 試験
乳・加工乳(2)	-	-	2	2	2	2	-	-	-	-
野菜類・果物及びその加工品(8)	-	-	-	-	-	-	-	6	2	-
菓子類(3)	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-
清涼飲料水(11)	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-
器具及び容器包装(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
総数(31)	3	3	2	2	2	2	11	6	2	7

2 食品表示法

(1) 表示検査状況(表7)

食品表示について、14 検体 延べ 30 項目の検査を行いました。

その結果、表示基準違反はありませんでした。

表7 表示検査状況

食品分類(検体数)	検査項目	保存料	甘味料	着色料	酸化防止剤	発色剤	乳脂肪分	無脂乳固形分
乳・加工乳(2)		-	-	-	-	-	2	2
アイスクリーム類・氷菓(4)		-	-	4	-	-	-	-
魚介類加工品(2)		2	2	2	-	-	-	-
漬物(1)		1	1	1	-	-	-	-
食肉製品(3)		3	-	3	-	3	-	-
酒精飲料(2)		2	-	-	2	-	-	-
総数(14)		8	3	10	2	3	2	2